トルコ金融政策（2018 年 9 月）

～トルコ中央銀行は市場予想を上回る大幅な利上げを決定～

2018 年 9 月 14 日

お伝えしたいポイント

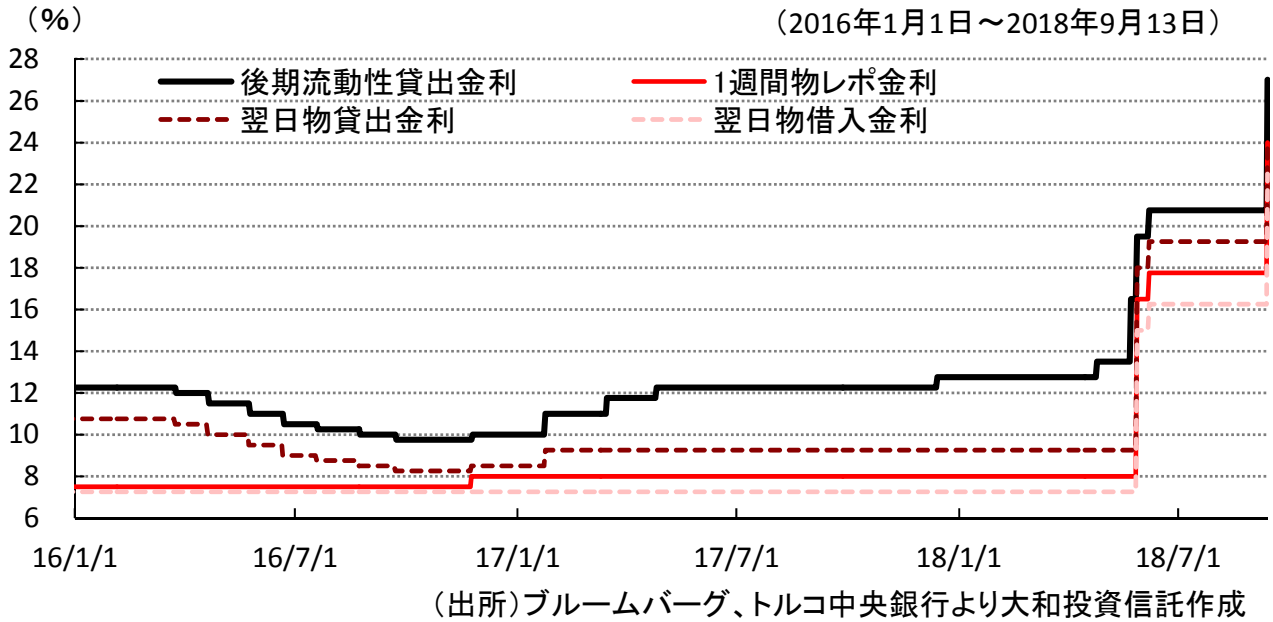
・トルコ中央銀行は 6.25％ポイントの大幅な利上げを決定
・市場予想を上回る利上げ幅により、トルコ・リラは上昇
・中央銀行に対する信認の回復はプラス材料も対米関係や経常赤字など課題は残る

＜トルコ中央銀行は 6.25％ポイントの大幅な利上げを決定＞

トルコ中央銀行は 9 月 13 日（現地、以下同様）、政策金利（1 週間物レポ金利）を 6.25%ポイント引き上げ、24%とすることを決定しました。

トルコ中央銀行は声明文で、国内需要は弱まっているものの、通貨安による影響から物価上昇のリスクが高まっているとし、物価安定のため強力な金融引き締めを行ったと説明しています。また今後については、物価の安定のためにあらゆる政策手段を利用すると述べ、必要ならばもう一段の金融引き締めを行うとの姿勢を示しました。

《政策金利の推移》



（出所）ブルームバーグ、トルコ中央銀行より大和投資信託作成

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

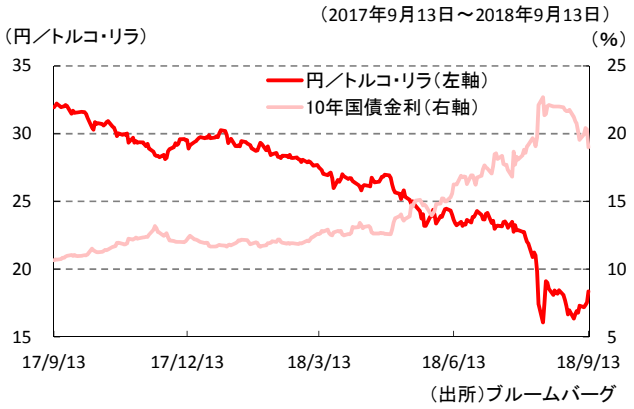
＜市場予想を上回る利上げ幅により、トルコ・リラは上昇＞

年初からトルコ・リラは下落が続いています。8 月にはトランプ米大統領がトルコに対する鉄鋼・アルミの関税の引き上げを表明するなど対米関係の悪化が懸念され、トルコ・リラは対円、対米ドルで最安値を更新しました。

9 月初旬に発表された 8 月の消費者物価指数は通貨安による輸入品価格の上昇などから、前年比＋17.9%と大幅な上昇となりました。トルコ中央銀行はこうしたインフレ率の加速を受けて、金融政策を調整する必要がある旨を述べ、今回の金融政策委員会での利上げを示唆していました。

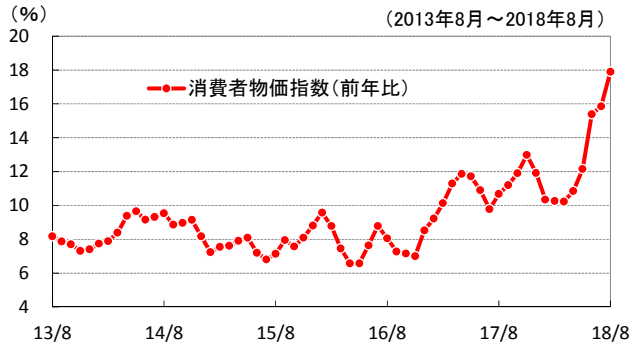
市場では利上げ予想が優勢でしたが、今回の 6.25%ポイントという利上げ幅は市場予想を上回るものとなったことから、利上げの発表後、トルコ・リラは大幅に上昇し、債券は買い戻される動き（国債金利は低下）となりました。

《為替と国債金利の推移》



（出所）ブルームバーグ

《インフレ率の推移》



（出所）ブルームバーグ

＜中央銀行に対する信認の回復はプラス材料も対米関係や経常赤字など課題は残る＞

今回の大幅利上げは、通貨安とインフレの悪循環を断ち切る要因となり、トルコ金融市場の安定化に一定の効果を与えるものとみられます。また、政策金利の発表直前にエルドアン大統領が利上げをけん制する発言をしていましたが、そのような中でもトルコ中央銀行が大幅な利上げを実施できたことは、中央銀行の信認回復という点でもプラスの材料と考えています。

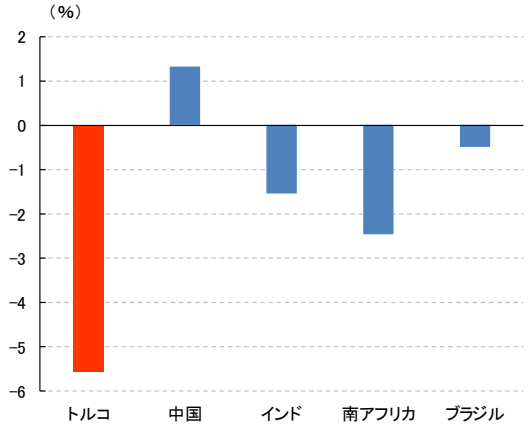
一方で、対米関係や経常赤字といった課題は残っており、対米関係を改善させることやトルコ政府が財政緊縮策や構造改革への道筋を示すことが必要と考えています。

また、トルコの民間企業が抱える外貨建て債務については、通貨安の影響から債務負担が増すとみられており、企業の資金繰りへの懸念もあります。

このような背景から、今後もニュースや要人発言などにトルコの金融市場が大きく反応する可能性があり、引き続き状況を注視していく必要があると考えます。

目先は、9 月 20 日に予定されている中期的な経済政策の発表や、10 月 12 日に予定されている米国人牧師の公判が注目材料です。

《主要新興国の経常収支の比較（2017 年）》



※経常収支はGDP（国内総生産）対比。　（出所）ブルームバーグ

以上

※後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をよくお読みください。

＜ご参考＞当社の関連リサーチ

◇マーケットレター

・トルコ中央銀行は利上げできるか（2018 年 9 月）（2018/9/10）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180910_1.html

・トルコ・リラは史上最安値を更新（2018 年 8 月）（2018/8/13）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180813_1.html

・トルコ金融政策（2018 年 7 月）～トルコ中央銀行は市場予想に反し、政策金利を据え置き～（2018/7/25）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180725_1.html

・速報・トルコ選挙（2018 年 6 月）～現職のエルドアン大統領が過半数を獲得し、再選へ～（2018/6/25）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180625_1.html

・トルコ金融政策（2018 年 6 月）～トルコ中央銀行は通貨防衛のため利上げを実施～（2018/6/8）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180608_2.html

・トルコ中央銀行は通貨防衛のため緊急利上げに動く（2018 年 5 月）（2018/5/24）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180524_2.html

・トルコ・リラは最安値を更新（2018 年 5 月）～S&P の格下げ以降、トルコ・リラは続落～（2018/5/8）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180508_1.html

・トルコ金融政策（2018 年 4 月）～短期的には中央銀行の利上げによる通貨防衛姿勢がトルコ・リラを下支え～（2018/4/26）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180426_1.html

・トルコ・リラは一時最安値を更新（2018 年 4 月）～目先は金融引き締め、長期的には経常赤字体質の改善が求められる～（2018/4/16）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180416_1.html

・ムーディーズによるトルコの格下げについて（2018/3/9）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20180309_1.html

・トルコ金融政策（2017 年 12 月）～トルコ中央銀行は利上げにより通貨防衛姿勢を示す～（2017/12/15）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171215_2.html

・最近のトルコの為替・金利動向と今後の見通し（2017 年 11 月）（2017/11/28）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171128_1.html

・トルコと米国のビザ発給業務停止に関する報道を受けて（2017/10/10）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/html_ml/ML20171010_1.html

◇Weekly Report

・トルコの金融市場動向（毎週更新）

http://www.daiwa-am.co.jp/market/weeklyreport.php?type=7

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託　フリーダイヤル　0120-106212（営業日の 9:00～17:00）　HP http://www.daiwa-am.co.jp/

大和投資信託
Daiwa Asset Management

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200％（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては約定代金に対して最大 0.97200％の国内取次手数料（税込）に加え、現地情勢等に応じて決定される現地手数料および税金等が必要となります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動（裏付け資産の価格や収益力の変動を含みます）による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30％以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用（信託報酬）等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等　：大和証券株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第108号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会